

Allegro assai
Baritone Solo

Freu - de, Freu - de, Freu - de, schö - ner

Freu - de! Freu - de!

Allegro assai
Ob.
Clar. dolce
Fag.
Cor.
Archi pizz.
pp
Ob. I
Clar. I

Göt - ter - fun - ken, Toch - ter aus E
Wir be - tre - ten feu - er - trun - ken,

Himm - li - sche, dein Hei - lig - tum!
Ihre ne - uen - au - ber bin - den wie - der, was die Mo - de

streng ge - teilt, al - le Men - schen wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weilt.

Legni

cresc. p

第九



文化・スポーツ都市宣言記念



2017春日井市民第九演奏会

とき 2017.12.3 SUN 15時開演

春日井市民会館

主催 春日井市、春日井市教育委員会、(公財)かすがい市民文化財団、春日井市民第九演奏会実行委員会

共催 春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団

後援 中部大学、中日新聞社



春日井市長 伊藤 太

本日は、「2017春日井市民第九演奏会」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

本演奏会も今年で25回目を迎えました。市民による手作りの演奏会として、四半世紀という長きにわたり親しまれてきましたことは、春日井市民第九合唱団や春日井市交響楽団を始めとする関係者皆様方のご尽力の賜物であり、感謝と敬意を表します。

今回は、音楽監督として井村誠貴氏、指揮者には春日井市交響楽団との共演経験もあります岸本沙恵子氏、ソリストには春日井広報大使の飯田みち代氏など、各方面でご活躍されている方々をお迎えしております。今日の演奏がご来場の皆様の心を魅了し、素晴らしい演奏会になることを大いに期待しております。

今年も残すところあと僅かとなりました。慌ただしく感じる師走ではありますが、躍動感あふれるオーケストラと華麗な歌声が彩る「第九」の調べを、最後までごゆっくりとお楽しみください。

2017春日井市民第九演奏会実行委員会会長



中部大学長 石原 修

本日は、第25回「2017春日井市民第九演奏会」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

春日井市は1943年に市制施行しました。市制50周年を機に市民により結成された春日井市民第九合唱団と春日井市交響楽団は、1993年12月、第1回「春日井市民第九演奏会」を開催し、今年で25回目の節目にあたります。

春日井市民第九演奏会がこれまで途切れることなく開催されてきましたことは、春日井市民第九合唱団、および春日井市交響楽団団員の長年にわたるたゆまぬ努力と、応援してくださる市民の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。市民手作りの第九演奏会は、春日井市の誇りとなっていることでしょう。

今年の指揮は、春日井市交響楽団定期演奏会で、これまで3度指揮をしていただいた岸本沙恵子さんをお願いしています。声楽ソリストには飯田みち代さん、早川朋子さん、松本薫平さん、片桐直樹さんをお迎えしました。さらに今年の第九合唱団には、中部大学混声合唱団、高蔵寺高校合唱部の若い力も加わり、演奏会はさらに素晴らしいものとなると期待しております。

春日井市は今年「文化・スポーツ都市」を宣言しました。春日井市民第九演奏会は、これからも「文化でつながるまち・春日井」の発展に貢献してまいります。今後とも皆様のあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは今年も皆様とご一緒に、年の瀬に響く歓喜の歌を楽しみましょう。

2017春日井市民第九演奏会



音楽監督 井村 誠貴

《第九に秘められた「不滅の恋人」への想い》

第九の歌詞はシラーの綴った頌歌ではあるが、ベートーヴェンはシラーの詩をカットしたり並べ替えたりしている。実はこれ、シラーの言葉を借りたベートーヴェン自身の詩だと言う説がある。シラーにとって重要ではない「Tochter(娘)」と言う言葉を大切にしているのは何故か?「Tochter aus Elysium(天上の楽園の乙女よ)」は頻繁に使われている。この「娘」こそが、ベートーヴェンの死後、秘密の引出しから発見されたラブレター「不滅の恋人」だと言うのだ。第九が作曲される11年前、「不滅の恋人」との辛い別れをした年とされる1812年のメモの中に「歓喜、神々の美しい火花、娘の序曲を仕上げる」というメモが見つっている。まさに第九の歌詞そのものだ。研究者によると、「不滅の恋人」は「アントニア説」が有力とされているが、もし、第九の歌詞が「不滅の恋人」への想いを綴ったものだとすれば、「天上の楽土から来た娘」や、「天使」と言う言葉から、既に天国に召されていた「ヨゼフィーネ説」も捨てがたい。家族愛に恵まれなかったベートーヴェンが、家族への憧れとして多用した「Bruder(兄弟)」や、「不滅の恋人」を「Tochter(娘)」という言葉に置き換えて想いを強く表したのだとすれば、間違いなくこの第九は、ベートーヴェン自身のメッセージだったと言える。



プログラム Program

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 作曲
Pyotr Ilyich Tchaikovsky(1840-1893)

序曲「1812年」 作品49

1812 Overture op.49

ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン 作曲
LUDWIG VAN BEETHOVEN (1770-1827)

交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

Symphony No. 9 in D minor op.125 "Choral"

第1楽章 アレグロ マ ノン トロッポ エ ウン ポコ マエストーソ
1st mov. Allegro ma non troppo e un poco maestoso

第2楽章 モルト ヴィヴァーチェープレスト
2nd mov. Molto vivace - Presto

第3楽章 アダージョ モルト エ カンタービレ アンダンテ モデラート
3rd mov. Adagio molto e cantabile - Andante moderato

第4楽章 フィナーレ：プレストーアレグロ アッサイーレシタティーヴォーアレグロ アッサイ
4th mov. Finale: Presto - Allegro assai - Rezitativo - Allegro assai



管弦楽 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」春日井市民のオーケストラです。1990年(平成2年)に創設され、市民の音楽愛好家を中心に活動しています。団員は、会社員・公務員・教員・主婦・学生・自営業者などからなる約70名で、毎年7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、オーケストラ活動を行っています。「春日井で名曲の演奏を」と心がけ、日々、音楽と向き合い練習を重ねています。本年の第九の指揮者は岸本沙恵子先生です。ここ数年、井村先生の指揮で演奏を行ってきましたが、団員一同、また新たな気持ちで第九に取り組んでいます。ご来場の皆様に音楽を聴く喜びを感じていただければ、私たちにとってこれほど嬉しいことはありません。今後も、春日井市交響楽団にあたたかいご支援をお願いいたします。

(団長 後藤 哲也)



合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために一般市民により編成された合唱団です。平成5年、春日井市市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を機に結成され、今年で25回目を迎えております。公募により集まった総勢238名の大合唱団です。平均年齢は60歳を超えておりますが、今年は従来の中部大学混声合唱団の皆さんに加え、高蔵寺高校合唱部の皆さんも参加してください。若々しい歌声にも注目ください。7月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、松下伸也先生の優しく丁寧な、また時にはユーモアを交えた指導のもと、一所懸命練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音に苦労しておりますが、第九のテーマである「人類みな兄弟」という喜びを我々自身も感じながら、演奏会においでくださる皆様方に、少しでもその精神を感じ取っていただけるよう精いっぱい歌います。今年は、チャイコフスキーの大序曲「1812年」合唱付で、ロシア語にも挑戦いたします。どうぞご期待ください。

(団長 須藤 章夫)



出演者紹介 Profile



指揮 岸本 沙恵子 Saeko Kishimoto

神奈川県出身。幼少の頃より、ピアノを始める。

中学校の吹奏楽部にてトロンボーンを担当。

県立希望ヶ丘高等学校吹奏楽部にて、2年先輩であった山田和樹氏(ブザンソンコンクール2009年度優勝)に影響を受け、学生指揮者を務めたのをきっかけに指揮者を志す。山田氏に指揮の最初の手ほどきを受ける。楽器は打楽器を担当。

洗足学園音楽大学声楽専攻を卒業。白幡武氏に師事。

在学1年次より、同大学附属指揮研究所に在籍。指揮を秋山和慶、河地良智、川本統脩の各氏に、スコアリーディングを島田玲子、西川麻里子の各氏に師事。ベーシッククラス、マスタークラス修了。

2003年7月より、東京指揮研究会主催の指揮セミナーにて、ウィーン国立音楽大学指揮科准教授の湯浅勇治氏に師事。

師の信頼を受け、2006年冬より、セミナーの取りまとめ役をこなす。

2007年度、ローム・ミュージック・ファンデーション受講。指揮を湯浅勇治氏に、スコアリーディング、ソルフェージュ、コレペティツィオンの基礎を三ツ石潤司氏に師事。

2007年度、アフィニス音楽祭のオーディションに合格し、指揮研究員として参加。同音楽祭にて、広島交響楽団音楽総監督の下野竜也氏に指揮の指導を受ける。

2011年、2012年度、ローム・ミュージック・ファンデーション受講生。

2017年、民音(民主音楽協会)主催の国際指揮講習会を受講。尾高忠明氏、Chi-Yong CHUNG氏に指導を受け、韓国のオーケストラでのレッスンを受ける。

春日井交響楽団とは、第20回~22回の定期演奏会で共演している。



ソプラノ 飯田 みち代 Michiyo Iida

京都大学教育学部教育心理学専攻卒業。
飯塚音楽コンクール大賞他多くのコンクールで受賞、また、愛知県芸術文化選薦を受賞。「ルル」「アイナダマール」「メデア」などの難曲の日本初演を主演し、主演したオペラは芸術祭大賞、ミュージックペンクラブ賞などを受賞した。『歌唱力抜群で、陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す、驚くべき才能』(音楽現代より)などと、絶賛されている。2015年音楽之友社のアンケートにより、世界のディーヴァベスト100に選ばれた。また、コンサート活動も活発で日本国内のみならず、イタリア・ドイツ・オーストリアにもリトリサイタルや各種コンサートに出演している。『飯田みち代愛を歌う』『Michiyo Iida singt Richard Strauss und Alban Berg』(プライザーレコード)『前田佳世子歌曲集』などがリリースされている。二期会会員。

『歌唱力抜群で、陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す、驚くべき才能』(音楽現代より)などと、絶賛されている。2015年音楽之友社のアンケートにより、世界のディーヴァベスト100に選ばれた。また、コンサート活動も活発で日本国内のみならず、イタリア・ドイツ・オーストリアにもリトリサイタルや各種コンサートに出演している。『飯田みち代愛を歌う』『Michiyo Iida singt Richard Strauss und Alban Berg』(プライザーレコード)『前田佳世子歌曲集』などがリリースされている。二期会会員。



アルト 早川 朋子 Tomoko Hayakawa

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。藝大在学中に朝日新聞社主催「芸大メサイア」のアルトソロに抜擢される。アムステルダム音楽院声楽科卒業後、CNIPAL(フランス政府国立マルセイユオペラ研修所)にて研鑽を積む。研修中にオペラ「ヘンゼルとグレーテル」魔女役でデビュー。オペラやオラトリオだけでなく歌曲の演奏会も精力的に行い、これまでにオランダ、ベルギー、ドイツ、フランス、インド等世界各地で演奏。第2回チェコ音楽コンクール第1位。ピエトロアルジェント国際コンクールリート部門最高位。広島交響楽団、藝大フィルハーモニア、フリスクファンファーレオーケストラ、カンヌ交響楽団等と共演。平田恭子、故朝倉蒼生、Pierre Mak、Elene Golgevitt 各氏に師事。

<http://seidelmusicmanagement.com/home/artists/tomoko-hayakawa.html>



テノール **松本 薫平** *Kunpei Matsumoto*

京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。大学卒業後イタリアに渡り、F.コッソット、I.ヴイニコ、E.マルテッリ、D.マッツォーラの各氏に師事。オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビューし、イタリアオペラを中心に主役を演じている。ルーマニア、トゥルグムレシュで開催された「冬の音楽祭」ではオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」(演奏会形式)のトゥリッドゥ役で出演し、好評を得る。平成13年度兵庫県芸術奨励賞、平成16年度神戸市文化奨励賞、平成20年咲くやこの花賞、平成22年度神戸キワニス文化賞ほか受賞。現在、神戸女学院大学准教授。京都市立芸術大学、神戸山手女子高等学校各講師。関西二期会会員。



バス **片桐 直樹** *Naoki Katagiri*

京都教育大学音楽科卒業。東京藝術大学大学院(オペラ科)修了。第22回藤堂音楽褒賞受賞。関西二期会オペラ公演《ドン・ジョヴァンニ》でレポレツロ役としてデビューし、歌唱、演技ともに高い評価を得る。その後、関西二期会を中心に《愛の妙薬》(ドゥルカマール)、《フィガロの結婚》(伯爵)、《蝶々夫人》(シャープレス)、《ドン・カルロ》(フィリッポ)、《ファウスト》(メフィストフェレス)など、数々のオペラに出演。バス役からバリトン役まで幅広く、これまでに90以上の役を演じ、いずれも好評を博す。特にその端正な音楽性と存在感のある多彩な役作りには定評がある。オペラ以外では、ベートーヴェン《第九》をはじめ、バッハの《マタイ受難曲》、ヴェルディ《レクイエム》など、バロックから現代に至るまでオラトリオ、宗教曲などのソリストとして著名指揮者、オーケストラとの共演も多い。関西二期会、京都音楽家クラブ会員。相愛大学非常勤講師。



客演コンサートマスター
平光 真彌
Shinya Hiramitsu

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。2005年、同大学大学院音楽研究科修了。中村桃子賞受賞。ヴァイオリンを青山泰宏、大久保ナオミ、福本泰之、Ewald Danel、岡山芳子の各氏に師事。指揮を紙谷一衛氏に師事。第11回日本クラシック音楽コンクール大学生の部全国大会第3位。第1回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。小淵沢室内楽セミナーにて最優秀カルテットとして「緑の風 音楽賞」受賞。これまで、プラハ放送交響楽団等ソリストとして多数のオーケストラと共演。2000年から岐阜管弦楽団、2004年から愛知室内オーケストラのコンサートマスターを務めるほか、神戸室内合奏団、中部フィルハーモニー交響楽団などの客演コンサートマスターを務める。その他、ソロ、室内楽の分野でもクラシック音楽を親しみやすく身近に感じてもらうために、地域に根ざした音楽活動を展開している。愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学非常勤講師。



合唱指導
松下 伸也
Shinya Matsushita

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院修了。在学中より演奏活動を開始し、名古屋二期会、名古屋オペラ協会、長久手オペラ、やまのてオペラ、四日市市民オペラ、三重オペラ協会公演等主要キャストで多数出演する。「第九」「メサイア」「エリア」等のソリスト、またソロリサイタルとして詩人の恋、水車小屋の美しい娘、冬の旅、リーダークライス等開催する。その声楽家としての経験を活かし熱心で、分かりやすく、最後まで団員を信頼する指導法が高く評価されている。レパートリーはシュツ等の初期バロックからメサイア、第九等に代表されるオーケストラ、ソリスト付き合唱曲等幅広い。現在、名古屋芸術大学、愛知淑徳大学各非常勤講師。春日井市民第九合唱団、陵水男声合唱団、アンサンブル瑠璃各指導者。名古屋市立大学混声合唱団発声指導者。

管弦楽合奏指導	竹内 雅一	鳥居 愛子	石橋 隆弘	石橋 玲子
合唱団発声指導	松下 伸也	西畑 佳澄	小原 道雄 (ドイツ語)	笥 聰子 (ロシア語)
ピアノ伴奏	竹内 理恵	松永 祐未子	長井 美香	定免 唯奈

みんなで歌おう、春日井賛歌を……

< 歓喜の歌 >

作詞●なかにし礼

1、あ い こ そ か ん き に み ち
び く ひ ー か り さ え ぎ る
く な ん を こ え て す す ー ま
ん か ん き の い た ー だ き
ふ み ー し め た と き わ ー れ
ら は き ょ う だ ー い せ か い は ひ ー と
つ か ん き の い た ー だ き ふ み ー
し め た と き わ ー れ ら は き ょ う
だ ー い せ か い は ひ ー と つ

1. 愛こそ歓喜にみちびく光
さえぎる苦難を越えて進まん
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ

2. 気け高たかき乙女を勝ち得たものよ
手を取りかんこ歓呼の叫びをあげよ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ